

お薦めの本

『JR 時刻表』 月刊
交通新聞社 1,150円(税込)

『日本鉄道旅行地図帳』 全12巻
今尾恵介 監修 新潮社 各 680円(税込)

「ノリテツ旅行」の必須アイテム

会員 関 理秀 (61 期)



「あれ？ コーヒーブレイクで趣味の原稿、って話だったのに…。書評、困ったなあ…。」

幼少のみぎりより、業として鉄道ファンをやっている小職、休みとなれば、日本全国にいそいそと「ノリテツ」に出かけるわけであるが、そんなとき、絶対に欠かすことができないのが、JR時刻表（交通新聞社）と、日本鉄道旅行地図帳（新潮社）のセットである。

ケータイ電話なる文明の利器が世に出まわようになって久しい昨今、分厚く重い時刻表など、前世紀の遺物と思われる方も多かろうが、さにあらず。時刻表には、我々の旅に必須の情報がたくさん詰まっているのである。

Web上の乗換案内の類は、出発地、到着地、出発／到着時刻を設定すれば、指定した条件に沿った列車を教えてくれる。しかし、その路線に他にどんな列車が走っているのかについてまでは、この類のツールを用いて調べるのは至難の業である。この点、時刻表は、特急、急行、普通等の種別、追い越し、単線区間での行き違い場所等も含め、その路線に設定されている列車がどんな動きをするのか、乗換駅で他にどんな列車が来るのか、全ての列車の動きが手に取るようにわかるのである。単線区間の列車の行き違い駅は、格好の撮影場所。それがわからねば、ノリテツ旅行の魅力は半減である。

他にも、駅間の距離、距離に基づいて計算される運賃の諸規則、おトクな割引きっぷ、列車の設備、車両の座席配置、鉄道だけでなくバスや航空ダイヤ、果ては各地の名物駅弁に至るまで、旅や出張に欠かせない

情報を、一冊で把握することができるもの、それが時刻表である。

しかし、時刻表だけでは十分でなかったのが、地理の情報であった。時刻表の路線図は、編集用にかなりデフォルメして作られており、駅の順序等は正確でも、駅間の距離がどの程度なのか、始点から終点までその路線がどのように進むのか、地形はどうなっているのかなどについて、時刻表の路線図から読み取ることは不可能であった。

鉄道を中心に、旅に欠かすことのできない沿線の地理の情報を、全国を12地域に分け、携帯にも便利な形でまとめたのが、日本鉄道旅行地図帳（全12巻／新潮社）である。

日本地図に、現存の鉄道路線、廃止された路線、主要な道路を掲載、絶景のポイント、長大トンネル、橋梁など、路線ごとの著名な特徴を随所に盛り込み、巻末では掲載路線の距離、駅等のデータを掲載した、ノリテツ旅行に必須のアイテムである。

列島を文字どおり震撼させた東日本大震災から、まもなく1年。日本鉄道旅行地図帳のシリーズからは、「東日本大震災の記録」という特別号が発売、「そのとき」の被害が生々しく記録されている。時刻表には、「当分の間運休」と書かれたまま、網掛けにされている区間が、まだまだ多数残っている。あの三陸、松島、太平洋岸の、美しい景色を思い出しながら、この空白の網掛け区間に、再び小さな4ケタの時刻が刻まれることを願わずにはいられない。